

第2回  
高校生  
未来  
サミット  
2019

未来への提言。

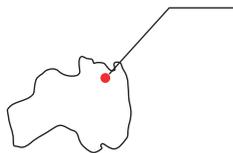
# KOKOSEI MIRAI SUMMIT 2019

高校生  
未来サミット  
登山図(スケジュール)

ちょっと真剣に  
未来を考えてみた

福島原発事故以降、大勢の大人たちが、未来をテーマに議論をした。でもこれから五年後、十年後に大人になるのは、いまの高校生。彼らがどういうビジョンで「未来」を捉えているのか。この「高校生未来サミット」で出しあつた様々なアイデアは秀逸。そして議論のレベルも高かった。これからの彼らの活躍を、期待せずにはいられない！

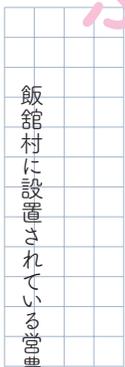




飯館村

福島県浜通りの北部に位置する。震災で全村避難となるが、村民がそれぞれ活動を行なっている。

学が



飯館村に設置されている営農型太陽光発電所を説明していただいた。飯館村は一時、全村避難地区に指定され大変な困難を強いられてきた。飯館村の復興を願い、村民有志が出資して作られた飯館電力は、村内に小規模分散型の太陽光発電所を多数設置し、復興を牽引する存在だ。見学したのは、高く設置した太陽光パネルの下で農業を行う営農型太陽光発電所。下の農地では牧草を収穫したばかりだった。日本中のどこでも農地があり、太陽の力を農産物とエネルギーでシェアしながら同時に作れるなんて驚きだ。



視察①

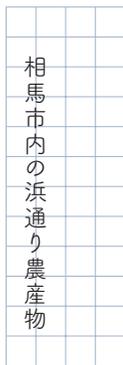
放射能  
玄米全袋検査

視察②

営農型太陽光  
発電所



相馬市内の浜通り農産物供給センターで行われている玄米全袋検査を見学。福島県で栽培された全ての玄米は、原発事故の翌年からベルトコンベアー式の検査器具で検査を受け、全国に出荷されている。ここ4年間は1袋も基準値を超えたものは検出されていない。地道な検査を続けることで、福島県産米を安心して流通させることができると思うんだ。



学が

相馬市

福島県浜通りの北部に位置する。津波被害があったことはわからないほど復旧しているが、汚染土を詰めたフレコンバッグが原発事故被災地であることを知らせている。





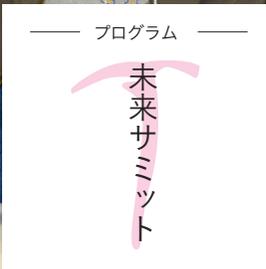
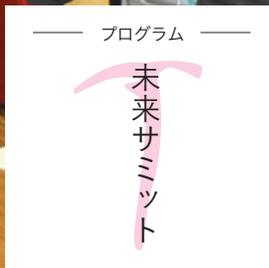
福島市

福島県中通りの北部に位置する  
人口約 28 万人の都市。  
「花も実もある」というキャッチフレーズにあるように果実どころ。



泊 2 日の短い期間だけど、より良  
い未来を手にするために初めて会っ  
た仲間や大人達に伝える。地域も  
学年も違うけど、みんな真剣に自  
分の意見を出し合うことができた。  
グループ毎のテーマの設定や発表  
の工夫に、参加者一同、大きな領  
きや気づき、笑いも。


伝える



原発事故以降続く玄米の放射性  
物質全袋検査、全村避難を経験し  
た飯舘村の太陽光の取組。田んぼ  
に積まれた多数の放射能汚染土の  
フレコンバック。避難生活を余儀な  
くされた同級生の思いと涙。多く  
の問題を抱えた福島県で、4つの  
課題について講師と一緒に考えた。


考える



二本松市・東和  
福島県中通りの北に位置する。  
中山間地の農村で、新規就農者の受け入れが盛ん。  
人口 5 万 6 千人。



安心して暮らせる環境とは。

高校生未来サミット presentation #2

自然環境

TEAM

〈安心〉 福島に住む人の中には原発事故から不安を抱える方も多い。放射線検査をするには器具は高価で子供たちが外遊びできずに肥満率も高くなった。身近に仮置きされている汚染土は減容化すべき。

〈継続〉 東京オリンピックは福島の現状を世界に伝える機会だが、開催後には風化する可能性もある。

〈伝える〉 被災された方に現地で直接話を聞かせてもらうことが一番効果的だと思う。感情や思いが伝わるから。今の高校生世代がこの大震災を伝えることができる最後の世代なので、私たちが関わらなくてはならない。難しい文章で震災を伝えるよりも動画やSNSで子どもでも分かる工夫をしていきたい。



講師から伝えたいこと

困難な中で生きざるをえない人への共感が大事だと思う。自分で考え、学んで行動する経験は、将来役にたつ。今は興味がないことでも知ることが大切なので、様々なことに挑戦してほしい。

谷 咲月さん もーもーガーデン 代表



福島の未来の農業を考える。

高校生未来サミット presentation #1

農業

TEAM

未来の世代に、安全な食べ物を食べてほしい。

若者にとっての農業は「つらそう、大変、初期費用がかかる」などマイナスのイメージの人が多く、生産者も生産量も年々減少している。海外からの輸入農産物に頼り健康への影響、さらなる国内自給率の減少が進んでしまう心配がある。

これらの課題を解決するため、農業に取り組みやすい環境を作る必要がある。

小さい頃から子供たちが農業に触れたり、興味をもつ機会を作る。農業体験、ボランティアで農業を知り、大変さや楽しさを知る機会を増やす。環境保全型農業へ支援も広める必要がある。

就農時の初期費用の負担を減らすため、国からの支援を増やすことで就農へのハードルを下げる。災害保険制度を創設し安心して就農できる制度を作るといいと思う。そして次の世代にも安全な食べ物を食べてほしい。

住んでいた人たちが戻ってこられる環境を作る。それが笑顔につながる。



講師から伝えたいこと

原発事故による影響は今でもあるが、新しい出会いが前進させてくれる。農業は大変だけど、やりがいも楽しさもたくさんあることを知ってほしい。誰もが必要とされる暮らし方や仕事があると思う。

齋藤康之さん (株)斎藤果樹園 代表





建築

TEAM

高校生未来サミット  
presentation #4

## 一生住める街・建築を考える。

長く住める街にはどんなことが必要か考えた。  
まず共働き・子育て世代の家事の負担を減らすため、家事をサポートするしくみを検討した。  
子供を保育所に預けるとかえって負担になることもあるので、職場で託児所の設置が必要だと思う。足の不自由な高齢者には、昇降機や段差をなくすバリアフリーを。停電時でも電気が使えるよう太陽光発電と蓄電池を設置することで災害に備える。断水時のトイレの水確保のため雨水を貯めておく装置も考えた。  
みんなが気軽に集まったり相談できる場所や、若い人の夢を応援するようなコミュニティもいかもしれない。住みやすい街づくりを色々な面から考えることができた。

### 講師から伝えたいこと

自分の仕事はデザインや建築だけど、野菜を作ること、食べることも楽しくて好きだ。仕事でも勉強でも、課題や解決策はたくさんあるけど、最後は自分の好きなことをとことん突き詰めてやってほしい。

北瀬 幹哉さん 環デザイン社



高校生未来サミット  
presentation #3

## 再生可能エネルギーを日常に。

エネルギー

TEAM

どうしたら再生可能エネルギーは「日常」になる？

ふだんエネルギーや原発のことを話すと白い目で見られてしまう。福島でも、大阪でもそれは同じだとみんなと話して分かった。当時小学1〜2年だった私たちは震災のことはわかるが、原発事故について知っていることが少ない。  
ドイツでは授業で原発の再稼働や環境問題についてあたりまえに議論するそうだ。先生も生徒も対等に賛成・反対の意見が交わされるなんて驚きた。この点で遅れている日本は、やるべきことが山ほどある。

〈伝える〉「未来のための金曜日」への参加を広げていきたい。

〈学ぶ〉学校でエネルギーについて学ぶ必要があるし、学んだことをSNSで発信する。

〈行動する〉みんなが環境にも人にも迷惑をかけない暮らしを実行してくることが大切だと話し合った。

### 講師から伝えたいこと

自分の夢をかなえようとするとき、「それは無理では」という指摘をされるかもしれない。そんな時は、「だったらこうしてみれば」と考えよう。自分の良心を信じ、好きなことにつき進んでほしい。同じ夢を持つ仲間を作り、他者の意見も聞き入れよう。

近藤 恵さん 飯館電力株式会社



# 高校生未来サミットを終えて

将来は農業をしたいと思っていますが、農業には課題があると思います。民宿で福島の高校生から震災について話を聞き、このサミットに参加しないとできないことだと思うので、良い経験になりました。

今回の取り組みで一番に残ったのは、班全員で考え伝えたことです。一日目で農業に関わることを教えていただき、そこから農業の未来を考えることができてとても楽しかったです。今後は今まで知らなかったことや興

味のなかったことにも触れ、自分の視野を広めていきたいです。

私は福島の現状を知りたくて参加しました。一番心に残ったのは、エネルギー班でのグループ活動ももちろんですが、汚染土を田んぼのど真ん中に置いたままの状態のこと

です。あんな状態で置かれているとは知らず、数もたくさんあって本当に驚きました。建築の先生に言われたとおり、再エネをもっと知ることが必要です。発表では太陽光発電に注目したが、地熱

やバイオマスも学んでほしいと言われたので勉強したいです。このプログラムの参加しなかったら一生出会ったことがなかったと思う福島の高校生と交流でき本当に良かったです。年齢関係なく話せて意見もまったく違うこともあって、とても関心が深まりました。

建築のことを考えていても、エネルギーなどほかのテーマにもつながるので、いろんな勉強が必要だと知りました。このサミットを通してたくさん

の事を学べてとてもいい

経験になりました。

発表の準備不足が残念だった。夜に皆で考えたのが楽しかった。建築について知れて良かった。

今回一番心に残ったのはKさんの話です。新聞やテレビで原発事故の避難者の話を知り、いじめや悪口があることも知っていました。でも直接聞いた時ほどの衝撃はありませんでした。聞かせてくれた話はほんの一部で、私には想像できないくらい辛い経験をし、今もたくさんの人が苦しんでい

ると思います。今回私はエネルギーグループで「再エネを日常の一部に」をテーマに、再エネの利点やどうすれば普及するのか、話し合いましたがデメリットや太陽光発電以外の地熱や水力などの発電にはあまり触れませんでした。再エネを学びより良い議論ができるようになりたいです。

疑問に思ったことは非難者の心のケア。福島県内でのいじめ、避難先で自殺する人がいることに驚き、心が軽くなるような制度を整えていくべきだと思いました。全袋検査から道中のフレコン

バック、講師や小玉さん、福島の高校生の話、

まじめな話や楽しい話まで夜遅くまでみんなで盛り上がった民宿、2日目の発表、全て私にとって新鮮で、とても学びの多く楽しい2日間でした。

私は親せきに農家はいないので農業について話を聞き、意見を出し合い、話し合ったりしたことがなかったのでもとても良い体験ができました。他の人の意見を聞くことで新しい考えを生み出すことができました。他の班の発表も聞いて、考えが深まったので良かったです。

去年に引き続き大阪の高校生と交流ができて、充

実した2日間が送れました。サミット終了後もこのつながりは絶やさずに、活動や発信も続けていきたいです。

夜の一時まで宿で原発や放射線について深く話せて良かった。今まで同年代の人とそんな話をすることがなかったから新鮮だった。今回、考えたことをこれからどのように行動していくか、先生や大人たちに伝えていきたい。大阪の人の話を聞いて、驚くことがたくさんあった。南海トラフの話など東北では話すことがないから、どのように

思っているか聞けて良かった。

夜遅くまでグループの人と話し合い、意見を交換できたことが心に残った。学校の友達とは話せないような話もできた。再生可能エネルギーをもっと深く勉強していきたい。(小水力、地熱発電、バイオマスなど) 普段話す場がないので、ディスカッションを通じて自分の意見を伝えたり、同じ考えを持つ人の話が聞けたことが嬉しかった。学年の違うメンバーと積極的に意見交換ができ、海外経験の話

を聞けて、新しいことをたくさん吸収することができた。上下関係なく自分の思いを伝えられる環





境がとてもよかった。私の友達の震災の体験談を初めて聞いて、同じ福島でも状況が全然違って、たことに衝撃を受け、私はほとんど被害を受けずに済んだということもあり悲しかった。大阪の高校生と関わる機会を持つことができて良かったです。

てすごいなと思った。ディスカッションの中で学ぶことがたくさんあったし違う意見もあって、もの見方が少し変わった。今後、家族や友達と話す機会があったら話したい。このプロジェクトを通して、自分の持つ意見を話して楽しいと思えました。また日本について深く考えているとき「日本人だな」とありまえのことを思い出した。

を知ることができ、次は2泊3日や3泊4日でもやりたいです。福島の人と関わる機会がめつたにないのもとても良い体験になり、来て良かった。次は福島の人に大阪に来てほしいです。

近な人に伝えることが大切だと思います。大阪の高校生と交流する機会がめつたにないので今回交流できて良かったです。初めてこのような企画に参加して少し心配だったけど、みんなと協力してたくさん話したり、考えたりすることができた。農業についての考え方が変わった。積極的にこのような企画に参加したい。ボランティアをやり

今回のプロジェクトを通して、福島について知らなかったことを知れてよかった。今の日本をどうすればいいのかをエネルギー、自然環境、農業、建築の4つに分かれてディスカッションした時、みんながすっかり自分の意見を話し合っている

グループ内で震災後の日本の農業をどうしたら良くなるかについて議論したことが印象に残りました。2日間を通して農業や地震など色々なこと

今回参加して理解したいことや身に着きたいことはたくさんあったけれど、これからもっと知らないことを深く学んで身

福島をより良くするために大阪の人たちや大人のプロフェッショナルと話し合えたことが印象に残りました。改めて福島

未来を考えられて良かったです。

福島の現状について肌で感じる事ができた。今まではニュースで見たり、ネットで調べて知つたりの情報がほとんど

畑や田んぼに放置していることに驚きました。福島の高校生とたくさん

話ができよかったです。実際に福島のことを見て

福島の高校生から実際に話を聞いたことが良かったです。大阪との違いや甲狀腺がんのことなど驚くことも多かったし、その中で議論を深められたことがうれしかったです。福島の文化についても知りたいと思ってきました。2日間あつた。民宿で菅野さんから聞いた話がとても面白かった。もっと知りたいです。本当に短い2日間だったと思いま

り、ネットで調べて知つたりの情報がほとんどだったので、本当に貴重な体験になりました。今回は課題に対して深く詳しくわかつたので、これからはその課題の解決策や改善方法を探していきたい。2日間あつた。民宿で菅野さんから話をしたり大阪の方に福島を知ってもらえてうれしかったです。来年もあればぜひ参加したいです。

話ができよかったです。実際に福島のことを見て発表の資料を集めたのが楽しかった。津波の高さや仮置き場はインパクトが強く印象に残った。

初めてこのような企画に参加して少し心配だったけど、みんなと協力してたくさん話したり、考えたりすることができた。農業についての考え方が変わった。積極的にこのような企画に参加したい。ボランティアをやり

た。情報量がとても多く

放射能で汚染された土壌を5cm、深くて15〜20cm

も削ること、またその土

を包んだものをそのまま

も削ること、またその土を包んだものをそのまま

も削ること、またその土を包んだものをそのまま

も削ること、またその土を包んだものをそのまま

も削ること、またその土を包んだものをそのまま



第2回 高校生未来サミット2019  
9/22(土) - 23(日)祝

主催：福島県民連産直農業協同組合  
協力：佐竹台スマイルプロジェクト、お米の専門店つねもと  
後援：福島県、福島市、吹田市、吹田市教育委員会

